



## 5 国有林野の事業運営

## 5 国有林野の事業運営

### (1) 管理経営の事業実施体制

#### 効率的な事業実施

伐採、造林等の実施行為については、民間事業者の能力を活用しつつ、簡素な組織と必要最小限の要員により効率的に行えるよう民間委託を進めています。

平成14年度の委託割合は、人工造林では8割以上、伐採（素材生産）や保育（下刈）については9割以上に達しています。

なお、森林管理署等が自ら行う直よう事業についても、効率的な事業の実施に努めています。

表 - 22 民間委託の実施状況

区 分	平成14年度	(参考)平成13年度
伐採(素材生産)	590 千m <sup>3</sup>	477 千m <sup>3</sup>
委 託	578 千m <sup>3</sup> ( 98)	452 千m <sup>3</sup> ( 95)
人工造林	2,442 ha	3,640 ha
委 託	2,033 ha ( 83)	2,889 ha ( 79)
保育(下刈)	103,536 ha	101,872 ha
委 託	96,826 ha ( 94)	90,922 ha ( 89)

注：1 ( )は、全体に占める委託の割合(%)である。

2 分収造林における実績は含まない。

### 簡素かつ効率的な組織機構の下での管理経営

国有林野の管理経営にふさわしい簡素で効率的な組織の確立に向けて、組織機構の徹底した簡素・合理化を進めています。

平成14年度には、森林管理局や森林管理署等において、149の係を廃止しました。

### 必要かつ最小限の職員数による管理経営

平成15年度までの集中改革期間中に職員数の縮減を緊急に進めることを目的として、他省庁への配置転換や特別給付金の支給による定年前退職を促進しています。

こうした取組もあって、平成14年度には約7百人（うち定員内職員は約3百人）が縮減され、その結果、平成15年度期首の職員数は約82百人（うち定員内職員は約56百人）になりました。

表 - 23 内部組織の係の数の推移

区分	平成14年度	(参考)平成13年度	14年度に廃止した 係の数
森林管理局等	685	779	94
森林管理署等	1,461	1,516	55
計	2,146	2,295	149

注： 係の数は、各年度期末現在の数値である。

表 - 24 職員数の推移

(単位：人)

区 分		平成14年度	平成13年度	縮減数	内 訳
定員内職員	期 末	5,447	5,753	306	定年退職 287 省庁間配置転換 28 その他 56 新規採用 65
	(翌年度期首)	(5,551)	(5,851)		
定員外職員	期 末	2,632	3,017	385	定年退職 365 特別給付金 13 その他 7
	(翌年度期首)	(2,631)	(3,017)		
合 計	期 末	8,079	8,770	691	
	(翌年度期首)	(8,182)	(8,868)		

注： 定員内職員の内訳欄の「その他」は、定年前退職、地方公共団体等への出向等であり、定員外職員の内訳欄の「その他」は、特別給付金以外の定年前退職である。

(2) 平成14年度の収支

平成14年度は、木材価格の一層の下落、土地需要の減退等により事業収入が落ち込む中で、木材の販路拡大、事務所跡地の売払い等の収入確保に努めました。

一方、支出については、職員数の縮減や効率的な事業の実行等により、人件費や事業的経費の縮減に努めました。

こうした一連の収支改善努力の結果、新規借入金を前年度よりも110億円減少させる中で、収入が支出を52億円上回りました。

(3) その他の事業運営

事務の改善合理化

簡素で効率的な組織機構と必要最小限の要員により事業を進めていけるよう、「国有林野事業の事務改善計画」や「森林管理局(分局)の事務改善計画」に基づき、事務の簡素化やO A化等の事務改善に取り組んでいます。

平成14年度には、個々の森林の手入れを記録し利用するシステムの導入、GIS<sup>注)</sup>の試験的な導入と効率的な活用方法等の検討、給与賃金に係る事務処理マニュアルの作成等を実施しました。

表 - 25 平成14年度の国有林野事業の収支

国有林野事業勘定				(単位：億円)			
収 入				支 出			
科 目	平 成 14年度	平 成 13年度	前年度 との差	科 目	平 成 14年度	平 成 13年度	前年度 との差
事 業 収 入	505	569	65	人 件 費	987	1,102	114
林産物等収入	224	256	33	定員内職員給与等	656	729	72
林野等売払代	193	223	31	林野基幹作業職員 給与等	331	373	42
貸付料等収入	88	90	1	事 業 的 経 費	411	485	74
一般会計より受入	841	799	42	森 林 整 備 費	247	307	60
事業施設費財源	295	277	18	事 業 費	165	178	13
公益林等保全 管理費財源	283	275	8	利 子 ・ 償 還 金	1,443	1,019	425
利 子 財 源	262	247	16	借 入 金 利 子	262	247	16
治山勘定より受入	139	140	1	償 還 金	1,181	772	409
借 入 金	1,481	1,182	299	交 付 金 等	72	74	2
新 規 借 入 金	300	410	110				
借 換 借 入 金	1,181	772	409				
合 計	2,966	2,690	276	合 計	2,914	2,679	235

収 支 差	52	11
-------	----	----

注： 合計と内訳の合計が一致しないのは四捨五入によるものである。

## 労働安全衛生の確保

職員の安全と健康を守るとともに事業を円滑に進めるため、労働安全衛生の確保に努めています。

その結果、平成14年度の労働災害の発生件数は、平成13年度よりも21件減少して81件となりました。

しかし、残念ながら、相手方の無謀運転により一度に職員4名が死亡する交通災害が発生するなど、重大災害の根絶に至りませんでした。

このため、死亡災害をはじめとする重大災害の根絶はもとより、労働災害を未然に防止するための取組を一層強化しています。

また、職員の生活習慣病予防等の健康保持増進対策やメンタルヘルス対策に力を入れるなど、心身両面にわたる健康づくりを進めています。

### 事例 蜂刺され災害の防止対策

四国森林管理局は、収穫調査や境界刈り払い等の各作業に応じて形状や装着のしやすさ等を調整した防蜂網の導入を進めるとともに、蜂の活動期における防蜂網の完全着用を徹底を図りました。

このように蜂刺され災害の防止対策に取り組んだ結果、平成14年度における蜂刺され災害件数は前年度の4分の1以下まで減少しました。

(四国森林管理局)



表 - 26 労働災害の発生状況

区 分	災 害 発 生 件 数				度数率	強度率
	死亡	重傷	軽傷	合計		
平成14年度	4	43	34	81	4.82	1.98
(参考)平成13年度	1	54	47	102	5.63	0.55

注：1 度数率 = 災害件数 / 実労働延時間数 × 1,000,000

2 強度率 = 労働損失日数 / 実労働延時間数 × 1,000

説 明：写真は、各作業に応じて調整した防蜂網を装着した様子です。

## 林業事業体の育成強化

事業実行の民間委託（38ページ参照）を進めるためには、経営基盤の強い林業事業体を育てていくことが重要です。

このため、公募により伐採、造林、間伐等を組み合わせて事業を発注する長期協定システムの締結を進めたり、共同事業体の結成による効率的な事業の実施を促すなどの取組を行っています。

また、都道府県ごとに設置されている林業労働力確保支援センター<sup>注</sup>が行う資金の貸付けや、高性能林業機械のレンタル等に関する情報の提供、労働安全衛生等のための研修会の開催や研修フィールドの提供等を行っています。

なお、伐採、造林等の委託は、登録制度の下で一定の要件を満たした林業事業体を対象に行っています。

### 事例 列状間伐作業の現地検討会の開催

間伐コストの削減や効率的な森林整備の方法等に関する知識や技術の普及のため、東北森林管理局は低コスト作業道と高性能林業機械を組み合わせた列状間伐作業の現地検討会を開催しました。当日は、森林組合・林業事業体関係者や地方公共団体職員等約160名が参加し、高性能林業機械による作業実演を見学するとともに、列状間伐の仕組みや作業に当たっての留意事項等について意見交換を行いました。

（東北森林管理局）



表 - 27 長期協定システム等の状況

（単位：件）

区 分	平成14年度		平成13年度	
	件 数	参 考	件 数	参 考
長期協定システムの協定締結数	68(12)	50流域	65	50 流域
共同事業体の結成数	58( 6)	226事業体	58	213 事業体

注：1 各年度期末現在有効なもの件数である。

2 ( )内は平成14年度に新規に実施した件数である。

3 「参考」は、協定が締結された流域数または共同事業体に参加した事業体数である。

場 所：秋田県北秋田郡田代町 早口<sup>はやぐちさわ</sup>沢国有林（米代東部森林管理署管内）  
 説 明：写真は、高性能林業機械による作業実演を見学する様子（左上）と、職員が参加者に列状間伐についての説明をしている様子（右下）です。